

動物循環器認定試験 審査申請のための手引き (2023年度版)

1. 認定試験の受験申請に必要な書類

- (1) 認定試験審査申請のための申込書（様式1）
- (2) 資格審査のための自己評点表（様式2）
- (3) 動物循環器講座の履修記録
獣医循環器学会の会員専用ページより、認定医講習会で実施される全ての講座を履修していることを確認すること。
- (4) 臨床獣医師の技術レポートは以下のとおりとする。
 - (イ) 主治医として診断した循環器症例30例の一覧表（様式3）。
 - (ロ) 上記30例中の10例の病歴要約で分野ごとの症例数は以下の通りとする。
 - ・先天性心疾患または心筋症の中から2例以上
 - ・不整脈例を1例以上（房室ブロック、WPW症候群、洞不全症候群、心房細（粗）動等の不整脈例のほか、麻酔中もしくは全身性疾患に伴う不整脈例も可）
 - ・その他後天性心疾患を含めて10例とする。
 - (ハ) 症例病歴要約レポートの体裁（様式4）は、循環器症例30例一覧表番号、臨床診断名、動物のプロフィール、検査所見、治療経過等を流れに沿って記し、最後に簡単なまとめを入れて作成する（書き方の例を様式4の後頁に添付）。1症例につき1,200字以内にまとめる。
 - (ニ) 再提出の場合は、前年度からの経過について追記すること。
- (5) 学術研究分野に従事する獣医師および獣医師以外の研究者・技術者の技術レポートは以下のとおりとする。
 - (イ) 学術雑誌の掲載した論文一覧表（3編以上で筆頭著者1編以上、別刷あるいはコピーの提出）
 - (ロ) 動物循環器学の課題レポートは、引用文献、図表は別にして5,000字以内にまとめる。
 - ・内容は、課題に対する内外の最近の研究あるいは動物の循環器学に関する知識を総合してまとめたもので、できるだけ解説的な論文にする。
 - ・課題は以下のとおりで一つを選ぶ。
 - 課題1: 動物の循環器の機能あるいは形態に関する比較生物学的考察
 - 課題2: 循環器薬剤の評価における動物試験の問題点
 - 課題3: 循環器疾患モデル動物の特徴と有用性
 - 課題4: 安全性薬理試験における循環機能検査の意義と問題点
 - (ハ) 論文の体裁は、表紙を付し、表題、著者名、所属、提出年月日、要約、本論、まとめ、引用文献とする。その他の書き方は「動物の循環器」の投稿規程に準じる。

2. 審査申請書の作り方

- (1) すべての原稿は、電子システムを利用して提出して下さい（URL:<https://iap-jp.org/jsvc/bcm/login>）
- (2) 心電図記録やX線写真等の添付データ以外の提出書類は、すべてA4判で作成し、PDF化して

ください。

- (3) 西暦で記入してください。
- (4) 画像データは様式4において1症例あたり3ファイルをアップロード可能です（静止画はPDF内に複数枚含めることは可）

3. 経歴の記入について

- (1) 臨床獣医師にあつては一般臨床経験5年以上です。一般臨床経験とは、飼育動物の診療病院における常勤5年以上を意味する。また獣医療法に基づく研修期間を含む。
- (2) 獣医師あるいは獣医師以外の研究者・技術者は、試験・研究業務に5年以上の経験が必要です。試験・研究業務とは、薬理学・生物学・医薬品の安全性試験或いはこれらに該当するものの中で主に循環器学の分野を意味する。
- (3) 経歴には、勤務期間、施設名、住所、役職あるいは担当、施設上長名を記入して下さい。

4. 会員歴の記入について

- (1) 審査申請の資格者は、日本獣医循環器学会会員であり会員歴5年以上で、この間会費を完納していることが必要です。
- (2) 今回の申請資格者は2018年度以前に会員になった方です。分からない場合は下記の日本獣医循環器学会事務局に問い合わせして下さい。

5. 臨床経験、学会活動等の資格審査の評点

- (1) 論文掲載、学会活動、講習会等の資格審査の評点基準は、「動物循環器認定医制度規程 細則」を参照して下さい。
- (2) 申請者は各自で自己評点を行って下さい。
- (3) 学会・シンポジウムなどで発表した場合は、参加の得点に発表の得点を加点する。
- (4) 発表・参加は1件毎の点数で、各種別の最大評点まで加算できます。
- (5) 資格審査の評点基準は、過去10年間の合計点が80点以上です。
- (6) 臨床経験、論文掲載、学会活動、講習会等は2013年1月1日以降の活動を記載して下さい。

6. 認定試験受験料の納入

- (1) 認定試験の審査申請の書類を提出する際に、認定受験料2万円を納入して下さい。
- (2) 認定受験料は下記の口座に郵便振替で納付して下さい。
- (3) 認定受験料の払い戻しは行いません。

7. 認定スケジュール

・申請書の受付	2023年7月1日～2023年11月17日 12時 提出締め切り
・認定審査	2023年12月1日～2024年3月31日
・可否の通知 & 手続き	2024年4月1日～2024年4月30日
・認定証の交付	2024年6～7月 認定証交付（定例学会内）

8. 認定試験受験料の納入先

郵便振替口座

口座番号：00140-5-564164

口座名称：日本獣医循環器学会認定委員会

登録料振込みもこの口座をお使い下さい。

9. 申請書送付および会員歴の問合せ先

一般社団法人 日本獣医循環器学会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

TEL: 03-6824-9371, FAX: 03-5227-8631

10. 内容に関する問合せ先

一般社団法人 日本獣医循環器学会事務局

〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5 アカデミーセンター

TEL: 03-6824-9371, FAX: 03-5227-8631

E-mail: v-junkan@bunken.co.jp

[様式1]

動物循環器認定試験 審査申請申込書

申請日	年 月 日	生年月日: 年 月 日 (満 歳 カ月)
フリガナ		
氏名(漢字)	(博士号のある場合: 博士、取得年月:)	
職種	獣医師 : (臨床・研究) 獣医師以外: (農学・薬学・理学・工学・その他:)	
最終学歴	大学 (学部・研究科): _____ 年卒業・修了	
現勤務先名		
現勤務先住所	郵便番号: 住 所: 電話・FAX:	
経歴(注1) 上から新しい順に 記入	勤務期間: 施設名: 住 所: 役職あるいは担当: 施設上長名:	
	勤務期間: 施設名: 住 所: 役職あるいは担当: 施設上長名:	
	勤務期間: 施設名: 住 所: 役職あるいは担当: 施設上長名:	
	勤務期間: 施設名: 住 所: 役職あるいは担当: 施設上長名:	
学会会員歴 (注2)	年 月 入会	

注1: 申請時において、臨床獣医師にあっては一般臨床経験5年以上、研究者にあっては研究歴5年以上を経たことが分かる経歴を記す。

注2: 日本獣医循環器学会(家畜心電図研究会も含む)の会員歴5年以上に対応する経歴を記す。

[様式2]

動物循環器認定試験 資格審査自己評点表

資格審査

1. 申請者は各自で自己評点を行って下さい。評点方法については下表の「動物循環器認定医制度規程細則」の資格審査の評点基準を参照して下さい。
2. 発表・参加は1件毎の点数で、最大評点まで加算されます。自己評点の欄には各種別の最大評点以内で記入して下さい。

種 別	評 点 項 目	最大 評点	発表・参加回数	自己 評点
論文掲載	「動物の循環器」掲載論文	30点	筆頭著書 編、共同発表 編	
	他誌掲載の循環器学論文		筆頭著書 編、共同発表 編	
学会活動	日本獣医循環器学会	50点	発表 回、共同発表 回、参加 回	
	循環器学関連の他学会・研究会	10点	発表 回、共同発表 回、参加 回	
講習会	本学会主催の講習会・症例検討会	40点	講習会：発表 回、参加 回 症例検討会：発表 回、参加 回	
評点の合計				

動物循環器認定医制度規程細則

資格審査の評点基準

種 別	評 点 項 目	最大評点	評 点	
			発表	参加
論文掲載	「動物の循環器」掲載論文	30点	10 (5) 点	—
	他誌掲載の循環器学論文		5 (3) 点	
学会活動	日本獣医循環器学会	50点	8 (4) 点	5点
	循環器学関連の他学会・研究会	10点	4 (2) 点	2点
講習会	本学会主催の講習会・症例検討会	40点	8点	5点

注：論文は、学会誌またはレフリー制度の整った学術誌に掲載されたものであること。
発表における括弧内数字は連名発表の点数を示す。
認定医講習会への参加は評点の対象外です。

・論文掲載は、代表的なものを10件以内で記入して下さい。

論文掲載	<p>記入例：小宮みぎわ、佐々木紀之、田辺哲也、大森貴裕、福島隆治(2013): シロスタゾールを投与した洞不全症候群Rubenstein II型の犬の1例—投与前後におけるホルター心電図検査所見一、動物の循環器、46(2), 43-51.</p> <p>記入例： Fukushima R, Yoshiyuki R, Machida N, Matsumoto H, Kim S, Hamabe L, Huai-Che H, Fukayama T, Suzuki S, Aytemiz D, Tanaka R, Yamane Y. (2013): Extreme tetralogy of Fallot in a dog, J Vet Med Sci,75(8): 1111-1114.</p> <p>応募者の名前に下線を引くこと。 論文が印刷中で掲載巻号が未定の場合には受理を証明できる書類を添付すること。</p>
------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

・学会発表は、代表的なものを10件以内で記入して下さい。

学会活動	<p>記入例：発表 福島隆治 (2015): パネルディスカッション—肺性肺高血圧、第36回動物医学会年次大会、大阪国際会議場。</p> <p>応募者の名前に下線を引くこと。</p>
------	---------------------------------------------------------------------------------------------

・講習会での講演・発表は、代表的なものを10件以内で記入して下さい。

講習会	<p>記入例：発表 星 克一郎 (2015): 死後の剖検にて犬糸状虫寄生を確認した猫の1例、第103回日本獣医循環器学会内 症例検討会、札幌コンベンションセンター。</p> <p>応募者の名前に下線を引くこと。</p>
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------

- ・ 学会活動での参加については、代表的なものを10件以内で記入して下さい。
- ・ 日本獣医循環器学会以外の学会・研究会の場合、循環器関連の講習会・症例検討会・シンポジウム・ワークショップ等であることが判るように記入して下さい。

学 会 活 動	記入例：参加 福島隆治 (2015): パネルディスカッション—肺性肺高血圧、第36回動物医学会年次大会、大阪国際会議場。
------------------	---------------------------------------------------------------

- ・ 講習会参加について、代表的なものを10件以内で記入して下さい。
- ・ 講習会参加は、本学会主催の講習会・症例検討会に限ります。(認定医講習会は記入不可)。

講 習 会	記入例：参加 岩永朋子 (2016): 房室解離と心室頻拍およびうっ血性心不全を呈した犬の1例、第105回日本獣医循環器学会内 症例検討会、福岡国際会議場。
-------------	--------------------------------------------------------------------------------

[様式3]

循環器症例30例一覧表：申請年月日：_____、申請者名：_____

一覧表番号：No. _____ (No. 1からNo. 30まで連番を付す)

カルテ番号：	個体名：	動物種/品種：	性：
当該疾病初診年月日：	年 月 日	生年月日：	年 月 日 (歳 カ月)
臨床診断名			
主訴または受診動機			
主要臨床徴候			
理学検査	心雑音 (有・無)、最強点_____、LEVINE/6, _____ 性雑音 その他：		
X線所見			
ECG所見		心エコー所見	
臨床経過			

一覧表番号：No. _____

カルテ番号：	個体名：	動物種/品種：	性：
当該疾病初診年月日：	年 月 日	生年月日：	年 月 日 (歳 カ月)
臨床診断名			
主訴または受診動機			
主要臨床徴候			
理学検査	心雑音 (有・無)、最強点_____、LEVINE/6, _____ 性雑音 その他：		
X線所見			
ECG所見		心エコー所見	
臨床経過			

注：2症例がA4、1枚のフォームにおさまるようにまとめること

[様式4]

症例病歴要約レポート：申請者名： _____

一覧表番号： No. _____ (循環器症例30例一覧表から選んだ番号を記入)

臨床診断名：

病歴要約 (動物プロフィール、検査所見、治療経過等の流れに沿って記し、最後にまとめを入れる)

[様式4の作成例]

症例病歴要約レポート： 申請者名： _____

一覧表番号： No. 1 (循環器症例30例一覧表から選んだ番号を記入)

臨床診断名： Ebstein 奇形

病歴要約（動物プロフィール、検査所見、治療経過等の流れに沿って記し、最後にまとめを入れる）

犬や猫において、先天性三尖弁異形成は稀な奇形である。Ebstein 奇形は先天性の三尖弁異常を主病変とし、それに起因する右房化右室、機能的右室の存在が認められる。今回エコー検査により臨床的に三尖弁異形成が認められた症例に遭遇した。

[処置経過] 種類： イヌ、性別： 雄、年齢： 1.6歳、体重： 15.5 kgのボーダーコリーである。

心疾患を示唆する臨床徴候は認められなかった。

聴診上、胸骨右側縁心尖部に最強点を有する5/6 (Levine)の収縮期逆流性雑音を聴取した。

血液検査において特記すべき異常は認められなかった。

胸部X線検査において、CRTは73.4%、VHSは12.1胸椎で、顕著な右心拡大が認められた。

ECG上では、正常同調律、HR 130 bpm、QRS平均電気軸+105度、II・III・aVF誘導でS波の増高とIIのP波は0.7 mVと増高が認められた。以上の所見より右房負荷、右室負荷と診断した。

UCG上では、FS: 43% およびEF: 78% で、四腔断面像において著しい右房拡張、三尖弁の前尖の過長と肥厚、中隔尖の付着部位は心室部方向へ下降を認めた。MVとTVの尖弁位置を比較すると、TVは心尖部方向に下降偏位が認められた。

ドップラー心エコー法により、TR, ASDを認めた。

[まとめ] 本症例に対して臨床学的検査を実施し、特に心エコー検査では、三尖弁と僧帽弁尖の位置を比較したところ、三尖弁尖が心尖部方向に偏位して付着し、また右房拡大が顕著であったことから三尖弁異形成の一つであるEbstein 奇形と臨床診断した。

Ebstein 奇形は弁偏位の程度、残存した機能的右室の大きさと残存機能、三尖弁狭窄の有無などによって重症度が決定されるといわれている。

今回の症例は、弁の偏位や右房の拡大、三尖弁閉鎖不全などは見られたものの、診断時臨床症状はほとんど認められず、現在満3歳に至るも心不全は認められない。内科的な対症療法によって長期生存の可能性のあるものと思われる。

[様式5]

日本獣医循環器学会
動物循環器認定医更新申請書

西暦 年 月 日

日本獣医循環器学会 認定委員会 御中

日本獣医循環器学会動物循環器認定医制度規程および同細則にもとづき、動物循環器認定医の更新を申請いたします。

氏名 : 印

生年月日 : 西暦 年 月 日 (満 歳 カ月)

認定医登録番号 : 号

認定医登録年 : 西暦 年

(更新歴がある場合は最も近い更新年:)

現勤務先名 :

現勤務先住所 : 〒

電話番号:

FAX番号: